

16人の議員が、市政を問う

ココが聞きたい 一般質問



QRコードを読み取ることで、
各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

東近江市議会 映像配信



東近江市民クラブ

和田 喜藏



Q 健康寿命延伸への取り組みは。

A 誰もが安心して暮らせる豊かな東近江市の創生に向け、健康寿命延伸を目指して取り組みを進めていくことは、まちづくりの観点からも大変重要であると考えています。

総合戦略においても、暮らしを支える保健・医療・福祉の充実を基本目標として掲げており、専門部会による協議を行うなど全庁的に取り組みます。

Q なぜ、介護保険特別会計予算が増加するのか。

A 高齢者人口の増加による介護保険サービス利用者の増加と、一人あたりのサービス利用量の伸びが主な要因です。



東近江市民クラブ

西澤 由男



Q 交流人口や宿泊人口を増やすには、まず市民自身がわがまちの良さを知ることが大切である。

その上で、日本遺産や琵琶湖保全再生法、ふるさと納税などを活かしながら、テーマをもった小旅行や地場産業体験、惣村行事見学、鈴鹿十座ルートなどの開発とPR、民泊やキャンプ場の整備などが必要と考えるが。

A 観光協会や各種団体と連携して語り部付き探訪や生業めぐり、モノづくり市を開催し、ふるさと学習授業なども進めています。

今後は、琵琶湖保全再生法に基づくエコツアーやまちづくりを推進し、ふるさと納税の特典にも、小旅行や観光ツアーが加わるよう充実を図ります。



東近江市民クラブ

西崎 彰



Q 人口減少に挑戦する28年度予算は。

A 28年度予算は、10年後、20年後に向けて布石を打つ重要な1年になるとの思いを込め、定住・移住や少子化対策を強力に推進することに重点を置きました。

定住・移住推進施策としては、転入者の住宅取得や多世代同居者の住宅取得・リフォーム、空家バンク活用に対する補助制度の新設等を実施します。少子化対策としては、婚活イベントなどの結婚支援、不妊治療および不育症治療の助成、妊娠・出産サポート事業、1歳未満児への紙おむつ等宅配事業、保育料の負担軽減、中学3年まで医療費を助成する事業や、待機児童の解消などに取り組みます。



東近江市民クラブ

寺村 茂和



Q 障害福祉サービス利用者が65歳になると、介護保険サービスへの切り替え手続きをしないでも、障害福祉サービスを打ち切る自治体があるが。

A 65歳到達前に介護保険制度の円滑な利用に向けた案内をし、一律に介護保険サービスへの移行は行っていません。

介護保険サービスでは十分なサービスが受けられない場合は、個々の実態に即した障害福祉サービスを支給しています。

また、障害福祉サービス固有の同行援護や行動援護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援などは、継続した利用ができるよう、切れ目のない支援を行っています。